

金沢大学 能登里山里海未来創造センター（防災・復興論、災害時マネジメント論） 教員公募

1. 公募人員：特任教授または特任准教授 1名

2. 所 属：能登里山里海未来創造センター <https://notomirai.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

3. 勤務地等：金沢大学角間キャンパス（金沢市角間町）

4. 専門分野：防災・復興論、災害時マネジメント論

大規模地震や豪雨災害発生時の復旧・復興、自然災害に備える防災・減災について全般的かつ総合的に研究教育に取り組める研究者、また災害発生時の緊急的な対応、復興期における組織間の調整、被災者支援やボランティアマネジメント等について、過去の経験と検証に基づいた理論構築と現場支援に力を発揮できる研究者を求めます。

金沢大学は、文理医融合研究への進展と国際性を重視しており、理論と実践を往還する実践的な研究者を求めます。

5. 職務内容：・「防災・復興人材特別プログラム」の運営及び防災士養成に係る運営業務  
・地域創造学系研究グループ「人と自然の共生」、他学系・学域等との共同研究活動  
・準専任として学類会議、研究科専攻会議への出席とその他の大学運営に関わる業務  
・授業外の学生指導（オフィスアワーを含む）や授業改善に関わる活動  
・KUGS特別入試防災・復興人材選抜入試における担当科目の出題・採点・監督等

6. 教育担当：防災・復興人材特別プログラム <https://note.w3.kanazawa-u.ac.jp/contents/4366>  
人間社会学域 地域創造学類  
大学院人間社会環境研究科博士前期課程 地域創造学専攻

7. 担当科目：学士課程共通教育：防災・復興学入門

学士課程専門教育：防災・復興論、災害時マネジメント論、災害復興支援実習、その他専門に関する講義・演習等

大学院博士前期課程：防災・復興特論、災害時マネジメント特論、災害復興支援特別実習、課題研究科目、その他専門に関する講義・演習

※上記担当科目を英語で行っていただく場合があります。

8. 応募資格：以下の条件を全て満たすことが必要です。

- (1) 博士の学位を有すること（採用時まで博士の学位を取得見込みの者も含む）。または、それと同等の研究能力を有すること。

- (2) 防災・復興人材特別プログラムの実施期間中に渡って優れた教育・研究成果および円滑なプログラム運営を期待できる経験と資質を有すること。教育、研究、地域防災・復興支援に強い熱意を有すること。
- (3) 日本語で授業、学生指導その他の業務ができること。
- (4) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

9. 着任時期：2025年4月1日以降のできるだけ早い時期

10. 勤務形態：任期付常勤（専門業務型裁量労働制）

※任期 原則5年（年度ごとに雇用更新、最長で年度末年齢65歳まで）

ただし、予算状況を踏まえて、所定の時期に防災・復興人材特別プログラムの運営、教育、研究実績に関する学内審査を行った上で、当初雇用開始日から10年を超えない範囲で雇用更新を行う場合があります。

※引き続いた本学在職歴を有する者については、当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。

11. 給与：国立大学法人金沢大学特任教員の就業に関する規則に基づき支給されます。

※金沢大学就業規則

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

12. 応募書類：

- (1) 履歴書  
写真を貼付し、高等学校卒業以後の学歴・職歴を記すこと、また連絡のつく住所、電話番号、電子メールアドレスを記すこと。
- (2) 研究業績目録  
著作物、発表報告、受賞歴など。共著・単著の別を記し、共著書の場合は、分担執筆した章あるいは節等の名称及びページを記すこと。論文については査読の有無について明記し、共著の場合は共著者を列記すること。
- (3) 主要論文3編以内の別刷（コピー可）  
それぞれに400字程度（英文の場合は300語程度）の要旨を付してください。
- (4) 外部資金の獲得状況  
科研費、その他の競争的資金、受託研究、共同研究、寄附金等について、代表・分担等の区別、研究課題名、採択年度・期間および金額を記入してください。
- (5) 講義計画：「防災・復興論」と「災害時マネジメント論」のシラバス案（日本語及び英語。授業は1単位8回で、第1回にガイダンス、第8回に期末試験を含めること）
- (6) 過去の担当授業科目一覧（直近3年間）および代表的科目のシラバス
- (7) 過去の大規模災害等に関わった実績やその成果を集約した報告書や提言等がある場合は、

その現物および要約

- (8) 受賞および招待講演などの特記事項、実務実績、競争的研究資金の獲得状況など
- (9) 応募者に関して意見照会可能な方1名の氏名・所属・本人の連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含むこと）

上記項目(1)、(2)、(4)、(6)は、原則として下記 URL に掲載されている様式をダウンロードの上、作成し、応募してください。

<https://hss.w3.kanazawa-u.ac.jp/information/koubo/>

**13. 選考方法：**書類選考の後、面接及び模擬授業をお願いすることがあります。その際に要する旅費等は、国内外を問わず応募者の負担となります。応募書類は返却しません。応募に関する個人情報、本件の選考以外の目的には一切使用しません。

**14. 応募締切：**2025年1月14日（火）必着

**15. 書類提出：**応募書類は JREC-IN Portal Web 応募または郵送にて受け付けます。

**【JREC-IN Portal Web 応募の場合】**

書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください（提出書類（3）については現物のコピーを PDF 化したもののほか、出版社作成の校正原稿の PDF も可）。なお、単著書については、現物の別途郵送も可。

**【郵送の場合】**

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学能登里山里海未来創造センター 事務局 長田宛

※「防災・復興人材特別プログラム教員（防災・復興論、災害時マネジメント論）公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

※応募書類は原則として返却しません。特に返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

※応募書類は選考終了後に廃棄します。

**16. 問合わせ先：**〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 能登里山里海未来創造センター事務局 長田

E-mail: [notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp)

**17. その他：**

- (1) 就業規則に関する規程については、下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

- (2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

- (3) 金沢大学ではダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。  
詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

- (4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、能登里山里海未来創造センターでは女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
- (5) 適任者がいない場合、採用を見送ることがあります。

以上